

[サファリ]

いくつになっても冒険野郎!

Safari

2011
FEBRUARY 2
780yen

Safariとは?

サファリというとアフリカの探検隊を想像しそうですが、実はこの言葉、1960~70年代のサーファーが好んで使ったものなのです。それは「Surfing Safari」。こちらは「未知なる波を探し求める旅」を意味しました。そこで本誌は、皆さんと「新しい世界を探しに出かけたい」と考え、Safariと名づけたのです。

COVER:

Chris Pine
クリス・パイン

人気ブランドの新作を誰よりも早く着こなして

春の予感 そんなデニム!

なぜか同じようなタイプをいっぱい持ってる!

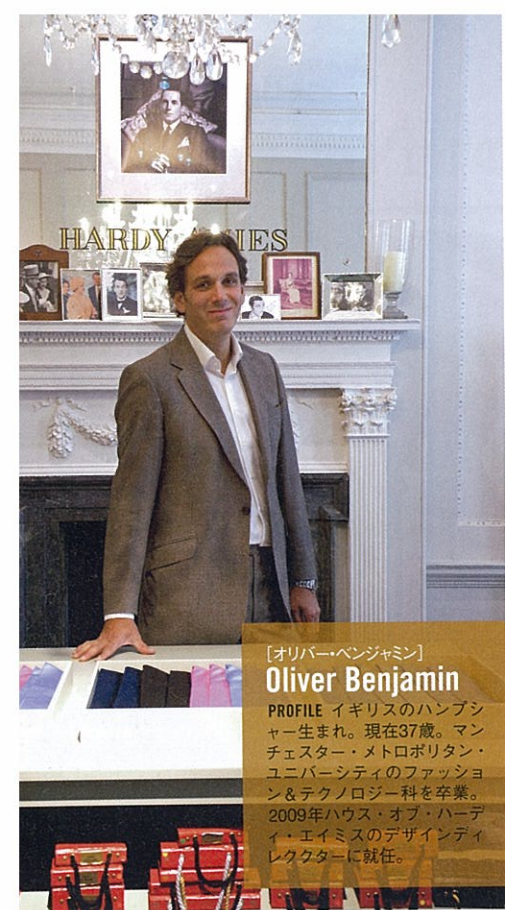
これがセレブの
複数持ちアイテム!

2010年、Safariに登場した
セレブの中から美女が選んだ!

ハリウッドで最も
デニムが似合う男は誰!?

今年も(ブルガリ)は
世界に愛のメッセージを発信!
多くのセレブがつける
リングの本当の意味!

近頃、ハリウッドでも
こんな着こなしがホラ増殖中!
デニムに合わせるなら
春は「テロ」カーデ!



**【オリバー・ベンジャミン】
Oliver Benjamin**
PROFILE イギリスのハンブシャー生まれ。現在37歳。マンチェスター・メトロポリタン・ユニバーシティのファッション&テクノロジー科を卒業。2009年ハウス・オブ・ハーディ・エイミスのデザインディレクターに就任。

創始者のハーディ・エイミスがブランドを立ち上げたのが1945年。洗練され、かつ伝統的な婦人服はエリザベス女王の関心を惹き、以来イギリス王室の御用達となっている。しかし、長い間サヴィル・ロウで活躍するためには単に保守的というだけでは生き残れない。つまり、時代の空気を敏感にデザインに組み込むということが要求されるのだ。現在、故ハーディ・エイミスに代わってデザインを担当するのはオリバー・ベンジャミン。彼はハーディのスーツをデザインするにあたり特に気をつけることがあるという。「スーツにハーディの人の柄やライフスタイルが感じられるようにしているんです。彼はまるでジェームズ・ボンドのように世界中を飛び回り、誰も考えつかないような独創的なクリエイティブリティを發揮しました。そうしたユニークな彼のキャラクターや哲学を反映させるので

す。そして、イギリスの伝統的なテイラリング技術。この2つが欠かせません」では、ハーディの独創的なクリエイティブリティとはどういうものか。「シンプルなパジャマを、ペイズリー柄や金色のトリミングで魅力的なナイトシヤツに変身させたり……。また、メンズ用のケープを考案したのも彼でした。そして、映画『アベンジャーズ』でパトリック・マクニーの衣装を担当したときには、金融街であるシティで一世を風靡したポーラー・ハットをファッショナブルなアイテムとして再登場させ流行になりました。サヴィル・ロウには多くの名店がありますが、レディスで培われたエレガントさはハーディらしいオリジナリティと言えるでしょう」

ハーディのスーツに袖を通したとき、あなたも世界に2つとないハーディの世界に魅了されるだろう。

ハーディの個性と伝統を 今も引き継ぐ男!



グッドウッド・リバイバルの復活を記念したパーティの様子。A イギリスの俳優、ジェレミー・シェフィールドとリサ・ブッチャー。そして2人の間にはLFヨーロッパCEOのスペンサー・フォン B パーティの出席者が見ているのは〈ハーディ・エイミス〉に関する多数のアーカイブだ C エスクワイア選出のベストドレッサー賞が発表された。受賞者はハーディのスーツを着用 D 真ん中にあるのは、最初に行われたグッドウッドのレースで優勝したドライバー、スターリング・モス E 会場の前には、レースのシンボルでもあるアストン・マーチンが駐車

ロイヤルファミリーもミュージシャンも〈ハーディ・エイミス〉を愛用! イギリスのセレブを魅了する ビスポークスーツ!

英国王室やミュージシャン、俳優など、イギリスのセレブが愛用するドレスメーカー〈ハーディ・エイミス〉。このブランドがサポートするクラシックカーのレース「グッドウッド・リバイバル」の記念パーティの様相を現地レポート。さらにはデザイナーにインタビューも敢行。彼らがこのブランドに惚れこむ理由が見えてきた!

写真=富岡秀次 photo: Shu Tomioka

〈ハーディ・エイミス〉を愛用するセレブたち!

英国王室御用ブランドであり、今では俳優、ミュージシャン、スポーツ選手などの多くのセレブが愛用している。ミュージシャンではミック・ジャガー、ポール・マッカートニー、ポール・クック、俳優はリサ・ブッチャーやジェレミー・シェフィールドなど。またF1レーサーのジェンソン・バトンも顧客だ



[リサ・ブッチャー]
Lisa Butcher



[ジェレミー・シェフィールド]
Jeremy Sheffield



[ポール・クック]
Paul Cook



What's Goodwood Revival?

イギリスの歴史的なモータースポーツイベント!

グッドウッド・リバイバルとは、ウェスト・サセックス州のグッドウッドサーキットで毎年9月に行われているカーイベントのこと。主に1948年から1966年までの時代のクルマが集まる。1966年を最後に30年以上レースは開催されなかったが1998年から復活し、毎年開催されている。

イリザベス女王のドレスを50年間作り続け、ウインザー公をはじめとする英王室、貴族の御用達ドレスメーカーとして知られる〈ハーディ・エイミス〉。由緒正しきブランドとして絶対的な立ち位置は今も揺るぎない。ゆえに、多くのイギリスのセレブもこのスーツを愛用している。それもミック・ジャガーやポール・マッカートニー、エルトン・ジョンなど超大物ばかりだ。そして、〈ハーディ・エイミス〉は伝統あるクラシックカーのイベント、グッドウッド・リバイバルのスポンサーを務めている。1948年にスタートした歴史あるレースを讃え、今年行われたパーティでは、サヴ

イル・ロウにあるクチュールハウスに多くの貴族やセレブが出席した。そもそも、〈ハーディ・エイミス〉はなぜ大物セレブたちの心を捉えたのか。答えは、1960年代にあるようだ。ハーディはロイヤルファミリーのデザイナーという以上に、彼自身が当時のファッショニシオンにおいて、ファッショニアアイコンとなっていたのだ。当時の若者を最も魅了したのはデザインだ。たとえば、それまでハイウエストだったパンツのウエスト位置を低くしたのもハーディだった。その革新性のあるスーツは、世紀をまたいだ今も多くのセレブたちのハートを惹きつけてやまない。

オリバーが選んだ珠玉の パーティスーツがコレ!

ハーディのオーダーメイドスーツにはルールがある。まずジャケットのセンターボタンはウエスト位置に。次に、裏地は表地にマッチしたもので決して調和のとれない色は使わない。そして男性のイブニングウェアは黒ジレの上にはミッドナイトブルーのジャケットを着る。このルールを踏襲したスーツがコレだ。今季の新作をとくとご覧あれ!

適度な艶感が色気を加速する ハーディ流イブニングスーツ!

ミッドナイトブルーと呼ばれる黒に近い色の生地を使用。〈ハーディ・エイミス〉らしい艶っぽさのある1着だ。通常、フォーマルには背中にはペントがないが、実用性を考慮してセンターペントの仕様に。あくまでクラシカルな要素をくずさず、さりげなくディテールに遊び心を感じさせる

遠くからだとわからないが、ショールカラーをよく見ると、家具のような美しい木目模様がグラデーションのように浮き出ているのがわかる。ボタンにも同じ木目が見える



英国スーツならではのディテールと モダンさが見事に融和する!

美しく前に振られた袖と、シングル2つボタンのクラシックテイストあふれるシルエット。シングルとしては珍しいピークドラベル。ラベル幅はシャープでモダンな要素もある。ブリティッシュならではのディテールであるチェンジポケットも配されている